



#GifuCanadaホストタウン交流Project

2018-2022 *Re*COLLECTION



目次

ホストタウン ってなに? —————	1
選手団と子どもたちとの交流 —————	5
カナダやホストタウンの知識を拡大!岐阜市の取組み —————	9
パラリピアンによる学校訪問 —————	15
GAP食材を使ったおもてなしコンテスト —————	19
#GifuCanadaホストタウン交流Projectスタート —————	24
岐阜からの応援メッセージ動画1 —————	28
カナダ選手から感謝の動画 —————	35
岐阜からの応援メッセージ動画2 —————	38
カナダ出身者によるカナダ紹介 —————	42
パラリピアンとのオンライン交流 —————	46
パラリピアンとのオンライン交流イベント —————	49
学生によるカナダ情報の発信 —————	53
ホストタウン料理で交流 —————	58
選手を感じられたPR企画 —————	63
オリ・パラ事前合宿でのおもてなし —————	68
事前合宿での子どもたちによるサポート —————	72
中学生と選手のオンライン交流 —————	78
ホストタウン交流の振り返り —————	83

ホストタウンってなに？

岐阜県・岐阜市は カナダのホストタウンです

2018年11月、岐阜県とカナダ陸上連盟は東京オリ・パラの事前合宿を「岐阜メモリアルセンター」で実施することで合意。

そこで、2018年12月、岐阜県と岐阜市は共同で、カナダを相手国とするホストタウンに登録しました。東京パラの事前合宿も行われることから、2019年12月に共生社会ホストタウンにも登録。心のバリアフリーなどの取組みも推進してきました。

◎ホストタウンとは

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、参加国・地域との相互交流を図り、地域活性化を推進する自治体のことです。



岐阜メモリアルセンター 長良川競技場

カナダ陸上チームを紹介

陸上競技でのメダル獲得数

日本は金0個

東京オリンピック  金メダル2個！
銀1個 銅3個 計6個

東京パラリンピック  金メダル2個！
銀4個 銅2個 計8個

日本は金3個

国・地域別 陸上競技でのメダル獲得数

東京2020オリンピック		
1位	アメリカ	計26個
8位	カナダ	計6個
29位	日本	計2個

スゴイ!

東京2020パラリンピック		
1位	中国	計51個
20位	日本	計12個
25位	カナダ	計8個

次のページではメダル獲得選手を紹介します!

カナダ陸上チーム<オリンピック>

  2  1  3 計6個

  0  1  1 計2個

金メダル	ダミアン・ワーナー	男子十種競技
	アンドレ・ドグラス	男子200m
銀メダル	ムハンマド・アハマド	男子5000m
銅メダル	アンドレ・ドグラス	男子100m
	エバン・ダルフィー	男子50km競歩
	アンドレ・ドグラス	男子4×100mリレー
	ジェローム・ブレイク	
	ブレンドン・ロドニー	
	アーロン・ブラウン	



▲ダミアン・ワーナー



▲アンドレ・ドグラス

カナダパラ陸上チーム<パラリンピック>

金 2 銀 4 銅 2 計8個

金 3 銀 3 銅 6 計12個

金メダル グレッグ・スチュワート 男子 F46 砲丸投げ

ネート・リーチ 男子 T38 1500m

銀メダル ブレント・ラカトス 男子 T54 5000m

男子 T53 400m

男子 T53 100m

男子 T53 800m

銅メダル ザカリー・ギングラス 男子 T38 400m

マリッサ・パパコンスタンティヌ 女子 T64 100m



▲グレッグ・スチュワート



▲ネート・リーチ



▲ブレント・ラカトス

#GifuCanadaホストタウン交流Project
選手団と子どもたちとの交流

海外からの訪問客に 小学生は興味津々!

2019年5月にカナダチームが岐阜での合宿にあわせ、チームスタッフが小学校を訪問しました。チームスタッフは、カナダやチームのことを知ってもらおうと、カナダの文化や注目選手などの紹介をしてくれました。児童は最初緊張した様子でしたが、話を聞くうちにどんどんカナダの魅力に引き込まれていきました。



競技強化部長のサイモン氏が茜部小学校を訪問。カナダ陸上競技連盟のリレー代表団がIAAF世界リレー2019横浜大会(5/11-12)に出場するのに合わせ、岐阜で合宿を行ったことで実現しました。

「嬉しい！」 メダリストから直々にアドバイス

その他にも、ヘッドコーチを務めるグレイ・ロイコーチが合宿の合間に高校生とスポーツ交流をしました。参加した岐阜高校の生徒からは「リレーでの走り方などを知ることができた。自分達の理想との違いを確かめ、参考にすることができた」と、顧問の先生も「生徒たちがリレーの知識を増やす良い場になった」と興奮気味。グレイ・ロイコーチは、参加者からの質疑応答や記念撮影にも気さくに応じてくれました。



グレイロイ氏は元金メダリスト。県立岐阜商業高校、岐阜高校、岐阜北高校の陸上部約50名の練習風景を視察し、直接、アドバイスをしていました。



金メダリストの登場に大興奮!

さらには、三輪中学校の陸上部は岐阜メモリアルセンターでの合宿の様子を見学。アスリートの練習風景を間近に見学することができた生徒たちは、大喜び。練習終わりには、東京オリンピック金メダリストとなった選手も登場し、生徒だけでなく、周囲の大人たちも大興奮でした。



東京オリンピックで金メダル(男子200m)と銅メダル2個(男子100m、男子4×100mリレー)を獲得したアンドレ・ドグラス選手も岐阜での合宿経験者。金メダリストと岐阜で会えた生徒は大興奮。練習後には、なんと即席のサイン会を開いてくれました。

#GifuCanadaホストタウン交流Project

カナダやホストタウンの知識を拡大！
岐阜市の取組み

子どもたちが大活躍! 「岐阜市・カナダ応援校」

岐阜市内の小・中・特別支援学校5校は2019年から「岐阜市・カナダ応援校」として、応援メッセージフラッグ、応援動画、応援グッズ制作を通じて、カナダ選手との交流を続けてくれました。東京オリ・パラ事前合宿中には練習風景を見学することができ、観覧席から直接、選手にエール。「岐阜市・カナダ応援校」の取組みは、ホストタウン交流への貢献が認められ、東京オリ・パラ担当大臣から「ホストタウン功労賞」が贈られました。



「第63回 ぎふ信長まつり」(2019年)では、応援フラッグを持って児童・生徒がパレードに参加し、カナダとのホストタウン交流をPR。

カナダやホストタウンの知識を拡大!岐阜市の取組み

岐阜市・カナダ応援校5校が制作した 応援フラッグ

カナダ陸上チームとの交流に想いを馳せ、「選手の努力」や「バトンを受け渡して走る姿」を想像し、活躍に期待しながら制作しました。

茜部小学校



長良西小学校



島中学校 陸上部



島中学校 美術部



三輪中学校



岐阜特別支援学校



カナダってどんなところ? ホストタウンウィーク2019「カナダデー」

岐阜市は「ホストタウンの取り組みを知ってもらいたい!カナダを感じてもらいたい!」との思いから、カナダにどっぷり浸れるイベントを2019年8月に開催。在名古屋カナダ領事館領事が自らカナダを紹介したほか、カナダの伝統菓子の紹介や展示・体験コーナーを設置。多くの来場者を目にした岐阜市の担当者は「岐阜の方にカナダを感じてもらうことができた」と、ホストタウンの更なる取り組みへの決意を新たにしました。

シェニエ・ラサール在名古屋カナダ領事館領事(※当時)による講演会。質疑応答の時間では、子どもやこれからカナダに留学予定の学生のご家族などから多数の質問があがりました。



東海学院大学管理栄養学科の協力により、カナダの伝統菓子「スクエア」を提供。200人分はあっという間になくなり、味も大好評!

岐阜大学地域科学部が制作したパネル展示では、来場者がカナダの美しい風景に目をとめていました。体験コーナーでは、子どもたちがアイスホッケーで遊びながらカナダを体感。



ホストタウンを知って欲しい! 「ホストタウンウィーク2020」

前年に引き続き、ホストタウンの取組みを広く知ってもらうため、岐阜市は2020年2月に、ホストタウンウィークを開催。特に反響が大きかったのは、日本人オリンピックとパラリンピアンとの講演会。普段は聞くことができない、オリンピックとパラリンピックに共通するアスリートの姿勢などを紹介。興味深いお話を知ってもらうことで、岐阜市民にオリ・パラを通じてホストタウンの取組みに関心をもってもらうことができました。



カナダが事前合宿を行う、陸上とパラ陸上について小林祐梨子さん(北京オリンピック出場)と花岡伸和さん(アテネ・ロンドンパラリンピック出場)が対談。



岐阜農林高等学校 流通科学科の生徒によるカナダクイズ。



岐阜市・カナダ応援校の応援メッセージフラッグの展示。

カナダやホストタウンの知識を拡大!岐阜市の取組み

「ホストタウンフレーム切手」を販売 (2020年～)

日本郵便株式会社と連携し、ホストタウン相手国であるカナダの写真をデザインした「ホストタウンフレーム切手」を作成、販売し、東京オリパラに向けて、機運醸成を図りました。



岐阜市×岐阜県×カナダ ホストタウンフレーム切手

#GifuCanadaホストタウン交流Project
パラリピアンによる学校訪問

学校にパラリンピック・メダリスト現る!

2019年7月、カナダのリオパラリンピック・銀メダリスト(パラ陸上)が岐阜メモリアルセンターで開催される「2019ジャパンパラ陸上競技大会」に出場するため、岐阜市を来訪。滞在の合間をぬって、選手らが岐阜市・カナダ応援校である島中学校と岐阜特別支援学校を訪問。目の前に現れたメダリストに児童・生徒たちは大喜びしていました。



リオデジャネイロオリンピック銀メダリストのアリスター・マックイーン選手(F44 男子やり投げ)とキム・カズンコーチが岐阜特別支援学校を訪問。

パラリピアンによる学校訪問



陸上部80人が中学生版やり投げ「ジャベリックスロー」で、リオデジャネイロ・パラリンピック銀メダリストのアリスター・マックイーン選手と交流。先生によると、「生徒にポイントを伝えることがとてもうまく、多くの生徒がやりをまっすぐ飛ばせるようになったり、記録を伸ばした。」とのこと。

パラリンピック・メダリストと勝負！

選手らは、訪問した島中学校で生徒からインタビューを受けたり、一緒に中学生版やり投げ「ジャベリックスロー」を競ったり、スポーツ交流を楽しんでいました。やり投げの選手ということもあり、先生や生徒はまず、選手の体の大きさに驚いていた様子。その雰囲気を感じた選手らはとても気さくに親切に、笑顔で生徒とふれあってくださり、和やかなムードに。楽しい交流時間が生まれました。

パラリピアンによる学校訪問



校内放送でカナダ選手へのインタビューをする島中学校の生徒会。



島中学校の生徒は「2019ジャパンパラ陸上競技大会」(岐阜メモリアルセンター)を見学。応援をしながら、パラアスリートの力強さを感じていました。先生によると、この交流をきっかけに生徒はパラリンピックに興味をもち、東京オリ・パラでは、日本選手だけでなく、カナダ選手も応援していたとのこと。

#GifuCanadaホストタウン交流Project

GAP食材を使ったおもてなしコンテスト

GAP食材を使ったおもてなしコンテスト

熱く、真剣に取り組んだ おもてなしの心

岐阜農林高校と岐阜県がチームとなり、「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」(内閣官房主催:2019年)にチャレンジ!。コンテストでは、おもてなしの心のすばらしさを発信しようと、生徒の手で育てたGAP認証のお米「縁結び」を使った和食を、神前結婚式という形で披露。岐阜の食材や日本の伝統と文化をホストタウン相手国であるカナダに伝えるため、熱心に取り組みました。

◎GAP食材を使ったおもてなしコンテストとは

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が主催。ホストタウンを訪問する各国・地域の選手等に対してGAP食材を使った、おもてなしの心を発信することを目的にしたコンテストです。



高校生と一緒に、おもてなしに最適な料理は何か、神前結婚式の奥ゆかしさをどう伝えるか、当日を迎えるまで、何度も試食や練習を繰り返しました。

GAP食材を使ったおもてなしコンテスト



岐阜農林高校が生産するお米「縁結び」と世界農業遺産「長良川の鮎」を使った釜飯、奥美濃古地鶏のロースト、カナダサーモンの手巻き寿司などを提供。料亭「美乃壺」の監修を受けて、生徒が調理しました。

「カナダの選手の活躍を後押ししたい」との熱い思いは、カナダと日本を融合させた料理で表現。和食の隠し味になんと！カナダの名産メープルシロップを使用。ご招待した在住カナダ人やホストタウン相手国関係者に好評でした。

えっ!生徒が花嫁花婿に! 金華山のふもとで模擬神前結婚式

食事の後、プレイベントとして岐阜護国神社にて模擬神前結婚式を実演。在住カナダ人やホストタウン相手国関係者をもてなしました。岐阜市内の料亭、神社、たくさんの方と協力を得ながら取り組んだおもてなし企画になりました。



生徒が紋付袴の新郎役、白無垢の新婦役、神楽を舞う巫女となり、花嫁行列、三三九度などを行いました。

GAP食材を使ったおもてなしコンテスト

おもてなし企画は 東京オリ・パラ担当大臣からも好評価

コンテストには全国40チームが参加。岐阜農林高校・岐阜県チームは内閣官房オリパラ事務局賞を見事、受賞！橋本聖子東京オリ・パラ担当大臣（当時）との意見交換会（2020年9月）では、橋本大臣から「“縁結び”の名前が金メダルにつながる。そして、神前結婚式でのおもてなしという発想に感銘を受けた」との評価をいただきました。



おもてなし企画参加メンバー



お米“縁結び”の収穫風景



岐阜護国神社への“縁結び”奉納



大臣とのオンライン意見交換の様子